

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第6区分

【発行日】平成19年10月11日(2007.10.11)

【公開番号】特開2006-52004(P2006-52004A)

【公開日】平成18年2月23日(2006.2.23)

【年通号数】公開・登録公報2006-008

【出願番号】特願2004-250949(P2004-250949)

【国際特許分類】

B 6 5 D 77/20 (2006.01)

B 3 2 B 27/00 (2006.01)

B 6 5 D 65/30 (2006.01)

B 6 5 D 65/40 (2006.01)

B 6 5 D 81/34 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 77/20 J

B 6 5 D 77/20 N

B 3 2 B 27/00 H

B 6 5 D 65/30

B 6 5 D 65/40 D

B 6 5 D 81/34 B

【手続補正書】

【提出日】平成19年8月24日(2007.8.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0039

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0039】

第一の平行部23a, 23bと第二のハーフカット27との間には僅かな間隔dが設けられており、第一のハーフカットと第二のハーフカット27とが連通することはない。円弧状の第二のハーフカット27により、蓋体2のフラップを開けたときに第一のハーフカットの第一の平行部23a, 23bと第二のハーフカット27によりできる注湯口が半小判形であり、第一の平行部23a, 23bと第二のハーフカット27との間にハーフカットのない部分があっても、滑らかに連結している。そのため、注湯口がきれいに見える。また第三のハーフカット127により、蓋体2はコの字状切れ目122及び切り込み123から直線状に切れ、湯切り口がきれいに形成される。